



ながれやましりつとしょかん

流山市立図書館でかりられる

2021年
7月

おすすめの本



次に読む本や、読書感想文の本としても
おすすめの、面白い作品をしょうかいするよ！
図書館で本をかりて、おうち時間を楽しもう！



※□の中の文字は、せいきゅう記号といって、本の背のラベルに書かれているよ。“E”から始まるのは絵本、“9”から始まるのは物語。本をさがす手がかりにしてね。

自分の力で肉を獲る

千松信也

10歳から学ぶ
狩猟の世界



『自分の力で肉を獲る』

千松 信也／著 旬報社 178p ¥1650 **659**

普段、皆さんが食べている“肉”。きっとスーパーで買ってくる人が大半だと思います。著者は、猟師として自分自身の力で獲物を獲り暮らしています。動物の命を奪うということは、その部分だけみると残酷に映るかもしれません。けれど、狩猟をして動物たちの“肉”を食べるということは、動物たちや自然と繋がることです。この本を通して、食べること、生きることについて考えてみませんか。

プラスチック プラネット

今、プラスチックが地球をおおっている

明日からプラスチック
ゴミをなくそう

『プラスチック・プラネット』

ジヨージア・アムリン=ブラットショー／作 大山泉／訳 評論社 48p **519**

あなたのまわりをながめてみて！プラスチックがたくさん。プラスチックは便利だけれど数千年も分解されないで残ってしまいます。とくにマイクロプラスチックというつぶつぶが、家庭から海へと流れ出して、魚が食べて、魚を食べる人間にも影響してしまいます。プラスチックを減らすにはどうしたらいいのでしょうか。

池谷裕二 ● ヨシタケシンスケ ●



心がザワザワしたら、1日1回就寝前におみください。

『モヤモヤそうだんクリニック』

池谷裕二／文 ヨシタケ シンスケ／絵 NHK出版 **491**

「勉強に集中するにはどうしたらいいですか？」「どうしたら自分に自信が持てますか？」…そんな小学生のモヤモヤに、脳の専門家・池谷先生が答えます！自分を大切に、前に進んでいくためのヒントが詰まった本。この夏は、忙しい日常から少し離れて、モヤモヤと向き合ってみませんか。

本の名前	書いた人	内容	出版社	せいまい記号
バウムクーヘンとヒロシマ	巢山 ひろみ / 作 银杏早苗 / 絵	日本で初めてバウムクーヘンを焼いたのは、ドイツ人捕虜のユーハイムさん。のちに原爆ドームと呼ばれる建物で売ること…	くもん出版	913 スヤ
ダーウィンの「種の起源」	サビーナ・ラデヴァ / 作・絵 福岡伸一 / 訳	生命の「なぜ」を説明したダーウィンの「種の起源」を美しい絵と文章でわかりやすく語りなおした本。	岩波書店	467
ぼくは恐竜探検家!	小林 快次 / 著	恐竜学とは、どんな研究をするのか。恐竜学者になるには、何が必要なのか。この本を読めばきみも恐竜学者になれるかも!?	講談社	457
名探偵カッレ 城跡の謎	アストリッド・リンドグレン / 作 菱木晃子 / 訳 平澤朋子 / 絵	のどかな町の安全を守るため、日々探偵の仕事に励むカッレ。親友たちと一緒に突然あらわれた「おじさん」の秘密を探るが…。	岩波書店	949 リン
ちいさなタグボートのバラード	ヨシフ・プロツキエ / 詩 イーゴリ・オレイニコフ / 絵 沼野恭子 / 訳	ぼくはタグボート。ぼくの仕事は、港に入ってくる大型船を停泊させること。いつか、ぼくも、はるか遠くの海にいつかみたい。	東京外国語大学出版会	Eオレ
じりじりの移動図書館(ブッカー)	廣嶋 玲子 / 著 他	移動図書館ミネルヴァ号の車内には、たくさんのお本があります。でも、ご用心。本に夢中になって気がつくと、そこはあなたの知らないセカイかも。五人の著者によるリレー小説。	講談社	913
へいわとせんそう	たにかわ しゅんたろう / ぶん Noritake / え	「へいわのボク」と「せんそうのボク」では、なにが変わるのだろう。比べてみると平和と戦争の違いが見えてくる。	ブロンズ新社	Eノリ
あおいの世界	花里 真希 / 著 中島梨絵 / 装画	空想する癖のせいで、クラスから浮いていた5年生のあおいが、カナダの学校に転校して…。言葉の通じないカナダでのあおいの半年間の成長を描く物語。	講談社	913 ハナ



< 図書館の開館時間 >



図書館の名前	火～土曜	日曜・祝日・夏休み期間中の月曜
中央・森・木・南流山	9:30～19:00	9:30～17:00
北部・初石・こども	10:00～17:00	

流山市立図書館では、「ひとり10冊・2週間」本をかりられます。

※夏休み期間中は、毎日開いています。